

小松じんぶん通信

第5号 令和6年12月 発行
石川県立小松高等学校 NSH担当

Jゼミ・Kゼミ合同中間報告会が開催されました！

11月2日(土)5・6限に人文科学コースと普通科文系の2年生による「人文科学課題探究(Jゼミ)・課題探究(Kゼミ)合同中間報告会」が開催されました。

本報告会では金沢大学の尾島恭子先生、小浦寛先生、原佑介先生、公立小松大学の西村聰先生、長辻幸先生、金沢学院大学の清田直恵先生、一色貴史先生、北島孟先生、石川県教育委員会 学校指導課指導主事の向哲宏先生、小松マテーレ株式会社常勤監査役の米澤和洋先生を助言者に迎えました。学校内からも、校長先生をはじめ、各教科の先生方に参観していただきました。

発表者たちがポスター発表を通して、助言者の先生方や参観していただいた本校の先生方、他の生徒と活動に意見を交流し、自らの考えを深める様子が見られました。金沢大学の尾島先生が講評でおっしゃっていた「研究の楽しさ」「わくわく感」を胸に秘め、今後の探究活動に向けて各グループが再出発する日になりました。以下に当日の様子と各班の現状のテーマを載せます。

●発表会の様子



●令和6年度Kゼミ研究テーマ一覧

A班	日本人の行うお祭りにアニミズムはあるのか
B班	ルッキズムを完全になくすにはどうしたらよいか
C班	ラップにおける韻の効果と必要性。
D班	百人一首で読まれる恋歌の恋のジャンル分け
E班	推理小説を作家別に比べる
F班	「日本のまちおこしの成功例を 基とした能登の特産品のマーケティング」
G班	新幹線延伸から考える 加賀市への観光産業についての提言
H班	日本に最適な通貨は何か？
I班	フィリピンの暴力を使用したドゥテルテ政権
J班	ディズニー映画における ヴィランのあり方の変遷について
K班	日本語特有の表現を 英語でわかりやすく伝えるには
L班	世界幸福度ランキングでの日本の低迷理由 —近年トップのフィンランドとの違い
M班	日本の大学と世界の大学
N班	短距離走は靴を履いて走るよりも 裸足で走るほうが速いのか？
O班	スポーツと衣服
P班	プロと同様のデータ分析で チーム力は向上するのか
Q班	高校生における制服の必要性について
R班	色はおいしさにどのように影響を与えるのか ～青色に視点を当てて～
S班	江戸時代の長屋から見る これからのシェアハウスのあり方

Jゼミプレ発表会が開催されました！

12月3日(火)5・6・7限に人文科学コース2年生による「人文科学課題探究Ⅰ」プレ発表会が開催されました。本発表会では金沢大学の小浦寛先生、福井大学の遠藤貴広先生、公立小松大学の朝倉由希先生、国立石川工業高等専門学校の園野光晴先生、京都大学法学部研究科博士課程に在籍し、本校のOBでもある大森道也さん、E班の研究に協力・ご助言をいただいている株式会社三菱総合研究所より奥野翔子さんを助言者に迎えました。また、人文科学課題探究Ⅰにおいて、各班の指導を担当する先生方をはじめ、本校の先生方にも参観していただきました。

●口頭発表会の様子



●令和6年度Jゼミ研究テーマ一覧

A班	宮沢賢治はカニに自己投影をしているのか
B班	平安貴族における「正妻」の実態
C班	何が人を外向的・内向的にさせるのか
D班	10代の大坂万博への賛成意見を増やすには
E班	小松市の商店街の活性化にむけた取り組み
F班	山月記から分析する「変身」の意義
G班	今後のアメリカにおける 日本アニメの人気の変容
H班	日本が失敗から学び、次に活かす方法 —過去の事例を基に日本の 失敗の構造を読み解く—

発表会終了後には来校していただいた先生方、本校の人文科学課題探究Ⅰ担当の先生方と生徒たちによる座談会が開かれました。今までの研究の成果を十分に発表し、1月22日(水)に開催される石川県SSH・NSH合同生徒課題研究発表会に向けて、一人一人が考えを練り直す機会となりました。

●発表後の座談会の様子



~「人文科学コース」今後の予定~

1月17日（金） Jゼミ最終発表会
1月22日（水） 令和6年度石川県SSH・NSH
合同生徒課題研究発表会